

【総合福祉科学コース】

■ 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

総合福祉科学コースでは、大学院課程の教育を通して、生活全体を視野に入れ、関連諸科学の知識と技術を用いて援助を行う専門職、地域社会の資源の開発、調整、分配を行う行政の福祉関連部門スペシャリスト、先駆的な社会福祉事業を開発・展開する社会的企業に携わる人材を養成します。この目標を達成するために、所定の期間在学して所定の単位を修得し、審査や試験に合格した学生に学位を授与します。

前期博士課程では、領域の研究成果の体系的な学習や自ら推進する研究活動等を通して、専門分野に関する高度の知識・技能並びに当該専門分野の基礎的素養を身につけ、当該分野の発展に貢献し、他の領域にも応用展開できる力を身に着けているかどうか、課程修了の基準となります。

(1) 社会福祉分野に関する高度の知識の習得

・関連諸科学の知識を活用し、個人と社会の関係、生活主体ならびに社会構造について高度で複雑な分析を行うことができる。

(2) 社会福祉分野における技能並びに基礎的素養の習得

・社会福祉分野の専門職の機能について理解し、対人援助の場面で求められる相談援助の技能を活用することができる。

・福祉実践の経験を基盤に、理論的・政策的分野を含めた社会福祉学の体系的な理解を深め、それを更なる実践や政策立案につなげることができる。

(3) 社会福祉分野の発展に貢献し、他の領域にも応用展開できる力の習得

・関連諸科学との学際的なアプローチによって社会全体の福祉の向上に貢献することができる。

・他の専門職と協働して、福祉課題の解決に取り組むことができる。

後期博士課程では、国内外の第一線で活躍できる社会福祉関連分野の研究者を養成します。新しい研究領域の開拓に取り組むなど世界に通用する自立した研究者や、特に高度な知識・技術及び研究能力を有する専門職となるために必要な能力とその基盤となる学識を身につけているかどうか、課程修了の基準となります。

- ・新規性や開拓性を有している研究に自らの力で取り組み、その成果を国内外で発表することができる。

- ・研究の企画、実施、評価、発表までのプロセスについて自らの力で管理・運営できる。

■ 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

総合福祉科学コースでは、学位授与の方針に掲げる学修成果の達成のために、総合福祉科学分野に関する科目、大学院共通科目などからなる教育プログラムを体系的に編成するとともに、講義、演習、実習等の多様な形態による授業を開講し、生活科学研究科の教育と研究の理念や目的に沿った研究指導を行います。

- ・社会福祉に関する高度で専門的な知識と方法を学ぶために、専門科目を設置する。人間の心身に関する専門知識、家族や社会の構造や生活課題に関する専門知識、人間と社会との関係に関する専門知識を体系的に習得する。

- ・大学院課程を通して教育・研究目的の達成に必要な専門性を越えた普遍的で公平な視点で研究する姿勢を身につけることができるよう大学院共通教育科目を置く

- ・生活科学論ゼミナールを通して、生活全体を捉える視点と関連諸科学の基本的知識を習得する。

- ・個人の福祉ニーズや社会構造の分析を行うための研究方法の理論と技能を習得する。

- ・講義、演習等を通して、国際的な視点で研究する姿勢を習得する。

- ・前期博士課程では、習得した知識や技術を統合し、現代の福祉課題に接近し、その解決のための実践的・学術的能力を育成するため、前期特別研究、修士論文を必修科目として置く。

- ・後期博士課程では、高度な知識・技術及び研究能力を有する研究者を養成するため、後期特別研究を必修科目として置く。

■ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

総合福祉科学コースでは、大学院課程の教育を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、学部の教育課程等における学修を通して培った確かな基礎学力と専門分野における十分な知識を有し、および人間性豊かで、科学や都市の産業・文化・生活・環境の発展に寄与しようとする志を持つ向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れます。

前期博士課程

- ・社会福祉に関する基礎的な知識・技術、あるいは実践能力を有し、さらにそれらを発展・深化させたいという意思を有していることを確認します。
- ・国内外の最先端の学術的知見を理解できる語学力やコミュニケーション能力を有していることを確認します。

後期博士課程

- ・これまで大学院教育で修得した研究能力と専門分野における知識を基盤として、将来、大学・研究機関において社会福祉に関する研究者として継続的に研究活動を行うという目的を有していることを確認します。